

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の指導について

令和5年度4月実施 羽島市立足近小学校

1. 結果より

国語

【学習指導要領の内容から】

（知識・技能）

- ・「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」については、県/全国平均を下回る結果となった。
- 一方で、「(2)情報の扱い方に関する事項」については、両平均を上回る結果となった。

（思考・判断・表現）

- ・「(A)話すこと・聞くこと」「(B)書くこと」「(C)読むこと」すべての領域において、全国や県の平均を下回る結果となった。

→特に、「記述式」の問題に対する正答率が低いことから、文章全体の構成や書き表し方、表現方法についての定着に弱さが見られることとなった。

算数

【学習指導要領に関わる領域から】

- ・「A 数と計算」「B 図形」「C 変化と関係」「D データの活用」のどの領域においても平均を下回る結果となっている。
- ・特に正答率が低い傾向にあるのが「B 図形」の領域であり、「台形」「正三角形」「正方形」などの基本的な図形の性質の理解が十分にできていないことが明らかとなった。

→国語と同様に算数においても、「記述形式」の問題に弱さが見られた。図形の大小関係について見つけたことを順序立てて説明することや、複数のグラフ（情報）を組み合わせながら記述をする問題への対応の弱さが見られた。

2. 誤答の傾向（◇）/分析（⇒）と今後の指導（★）

【国語】

◇「条件を満たした記述」の力が弱い

⇒「要点をつかむ力」が弱い。書けない、分らないと思ったら考えるのをあきらめてしまうところがある（粘り強さ）。

★自主勉強で新聞をまとめる、休日の日記を書く、説明文で要点まとめの練習に取り組むなど、文を書くことを取り入れて苦手意識をなくす。

◇同音異義語の使い分けができない

⇒日常的に漢字を使おうとする意識が低い。文章を作る経験少ない。

★「漢字の広場」などを活用して、文章作りの時間を確保する。朝のスキルタイムの時間を活用して同音異義語の問題に取り組む。

◇敬語の使い方がわからない

⇒敬語を使う経験が少ない。

★先生との会話や地域の方への手紙を書く等の機会を活用して日常的に敬語を使う場を位置付ける。

【算数】

◇算数で学習する用語や公式、構成要素などの「意味」や「定義」があいまいになっている

⇒授業時の定着状況の見届けが十分にできていない。

★授業時の見届けを的確に行い、また、生活の様々な場面で使ってみることで、生きて働く知識技能が身につくようにする。「表の見方（縦軸・横軸）」「比例における矢印の使い方」など、授業で、書く・使う指導を進める。

◇根拠を示しながら説明（記述）する力が弱い

⇒1つの問題に複数の情報が入っている場合に、情報の取捨選択、適正な処理ができない。（問題形式への対応不足）

★教師自身が系統性を理解して、「ブロック操作」「数直線」など、1年生から系統的に根拠を明確にして説明する場を授業で大切に、積み重ねていく。

【全教科において横断的に指導すべき事項について】

- ①一単位時間ごとに、3つ（実態/学習状況/定着）の見届けを再度徹底する。
- ②各授業において、「習熟」や「ふりかえり」などの終末の時間を大切に、時間を確保する。
- ③「スキルタイム」や「読書」、「家庭学習（自主勉強）」など、授業外でも定着を図る。

※今後の指導改善に向けては、日々の授業を改善し、全教科で横断的に、全学年で取り組んでいくことが大切である。また、教科だけではなく、家庭学習における「自主学習」などの指導を進め、子ども自らが苦手を把握し、学習を進めていく指導を進めていく必要がある。

4. 児童質問紙調査より

☑質問について（そう思う）が多く見られた質問

- ・朝食を毎日食べているか
- ・先生はよいところを認めてくれているか
- ・先生は授業やテストなど、間違えたところについて分かるまで教えてくれますか。
- ・将来の夢や目標はもっていますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・いじめはどんな理由があっても許されないと思いますか。
- ・友達関係に満足をしていますか。
- ・困りごとや相談があるときに先生や学校にいる大人にいつでも相談ができますか。
- ・タブレットなどのICTを使うことは勉強の役に立つと思いますか。
- ・国語の勉強は大切だと思いますか。
- ・国語の勉強は将来の役に立つと思いますか。
- ・英語の勉強は大切だと思いますか。
- ・算数の勉強は大切だと思いますか。
- ・算数の勉強は将来の役に立つと思いますか。

☑質問について（そう思う以外）が多く見られた質問

- ・毎日同じくらいの時間に寝て/起きていますか。
- ・自分と違う意見について考えることは楽しいと思いますか。
- ・学校に行くのは楽しいですか。
- ・家で自分で計画を立てて勉強していますか。
- ・新聞を読んでいますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ・外国についてもっと知りたいと思いますか。
- ・授業で学んだことをほかの学習で生かしていますか。
- ・国語の授業で立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめたり、書いたりしていますか。
- ・将来英語を使う職業に就きたいと思いますか。
- ・国語の勉強は好きですか。
- ・算数の勉強は好きですか。
- ・英語の勉強は好きですか。

★質問紙から見られる傾向と今後の指導

- 起床時間、睡眠時間が乱れつつある。また、PCやゲームなど電子機器類へ費やす時間も多くなることがアンケートから明らかになった。自分で自分の生活リズムをマネジメントしていく力や、規則正しい生活を習慣づけていくことでも学習の定着や授業への集中力の向上につなげていきたい。
- 国語や算数などを学習することの大切さは感じているが、学習自体を「楽しい」と考える子どもが少ない。また、仲間と違った意見を出し合って学ぶことのよさを実感できていない。日々の授業の中で、仲間と協働的に学習する場、個別最適な学びを進めていく場を意図的に仕組んでいくことに加えて、「できた！分かった！」という喜びや、学びの変容を実感させていく学習の出口を意識していく必要がある。
- ICTの魅力や効果を実感している子どもは多くいるため、引き続き活用を進めていきたい。
- 授業や家庭学習、スキルを活用して、新聞や読書に関わって意識を高めていくことも必要である。